



ばかたれが!!



おまえのような奴はこうしてくれる!!



祖父は日本刀を打ち下しました



複雑な家庭環境の中で自分が愛されているという確信がもてなかつたからかもしれません



欲しいなら欲しいと言わんぞ!!
どうして買ってくれと言わん!!

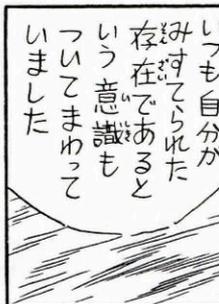


甘えんとか頼みごとが極度にいやでした

その言葉が口に出せませんでした



父の放蕩母との別れ.....



いつも自分がみずから存在であるという意識もついでまわっていました



泰男にとってただ絵を描くことだけが救いになっていたのでした



先生



やあ 香月
先生 絵を描きに行かれますか?



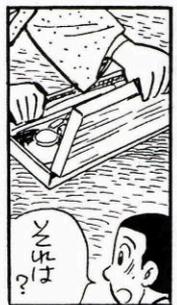
ああ ついてくるかい
はい



絵の好きな先生は休みの日に景色のよい所に出かけて写生をします
泰男はよこれによくついて行きあきもせずながめていた



今日はここで描こう



それは?



香月は油絵具をみるのは初めですか?



先生は油絵も描くんですか? すげえ...



油絵具は独特の匂いがしました



先生の絵はたいしてうまくなはない...



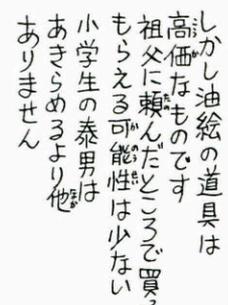
でも油絵は魅かた!



家に帰って水彩絵具で描いた絵をとりだしてみたら油絵にくらべたら薄っぺらだ



それにあの匂い... まだ俺の鼻に残っている... ああ... 油絵具が欲しいなあ



しかし油絵の道具は高価なものです 祖父に頼んだところを買ってもらえる可能性は少ない 小学生の泰男はあきらめるより他ありません

以下次号